

1 利用状況等 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

「守山市子ども読書活動推進計画第 3 次計画」が令和 7 年 3 月をもって終期を迎えることから、第 4 次計画を策定し、令和 7 年 4 月から施行しました。「いつだって好奇心手を伸ばせばそこに本」を基本理念とし、不読率の低減をめざすとともに、読書好きの子どもが増え、本が好きと言える市民であふれ、広く深く読書に関わり、心豊かな生活や人生を送ることができる読書日本一のまちづくりに繋がっていくことをめざしていきます。

本館では、講座やおはなし会の他、計画策定に当たって、市民懇談会や小学生 3 年生にアンケートを行いました。学校図書館支援事業では、学校図書館司書の資質向上に向け、研修を充実させました。

北部では、季節に合わせたおはなし会や映画会を開催し、近隣校園や公民館との連携し、おはなし会やミーティング等を行い、地域に密着した図書館づくりに努めました。

(1) 利用状況

・来館者数	本館	468,995 人	月平均約 39,083 人	(前年度比 103.2%)
	北部	90,694 人	月平均約 7,558 人	(前年度比 261.6%)
	合計	559,689 人	月平均約 46,641 人	(前年度比 104.2%)
・開館日数	本館	286 日		(前年度 284 日)
	北部	296 日		(前年度 110 日)
・貸出冊数	本館	1,021,967 冊	1 日平均 3,573 冊	(前年度比 98.5%)
	北部	98,015 冊	1 日平均 331 冊	
・貸出人数	本館	297,711 人	1 日平均 1,041 人	(前年度比 101.7%)
	北部	21,857 人	1 日平均 74 人	(前年度比 275.8%)
・新規登録者数	本館	3,683 人	1 日平均 12.9 人	(前年度比 85.3%)
	北部	344 人	1 日平均 1.2 人	(前年度比 128.4%)
・予約本の受渡し				
	駅前総合案内所		14,972 冊	(前年度比 94.9%)
	中洲会館		257 冊	(前年度比 92.1%)
・読書通帳の配布 1,028 冊 (うち中学生以下 829 冊) (10 ヶ月検診配布分は含まず)				
				(前年度比 98.9%)
・インスタグラム 投稿数 414 件 フォロワー数 1,391 人 (令和 7 年 4 月 4 日現在)				
・ふるさと納税による貸出カード、読書通帳の発行 40 件 (前年度 45 件)				
・市民一人当たりの年間貸出冊数 13.0 冊 (前年度 12.5 冊)				

- ・ 守山市民実利用者数 17,480 人 (前年度 17,214 人)

(2) 蔵書状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

- ・ 蔵書冊数 440,307 冊 (うち児童書 125,830 冊) (録音図書含む)
- ・ C D 2,955 点、D V D 837 点
- ・ 雑誌タイトル数
本館 270 タイトル (うち寄贈 48 誌、スポンサー 10 誌) 新聞 18 誌
北部 33 タイトル (うちスポンサー 3 誌) 新聞 5 誌

(3) 貸館状況

- 多目的室、活動室、スタジオ、ギャラリー、集会室
- ・ 利用件数 合計 3,222 件 (前年度比 119.0%)
- ・ 延べ利用人数 35,435 人 (前年度比 115.8%)
- ・ 平均稼働率 50.4% (前年度比 96.4%)

2 主な事業報告 (図書館主催行事)

(1) 本館

ア 「ルシオールアートキッズフェスティバルおはなし会 街を歩けば音楽に出会う」

日時 5 月 19 日 (日) 午前 11 時 30 分と午後 3 時からの 2 回開催
参加人数 延べ 75 人



イ 市民懇談会「守山の子どもたちの読書について考えよう」

日時 6 月 29 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
参加人数 36 人 ファシリテーター 16 人

ウ としょかんにかんするアンケート

(子ども読書活動推進計画第 4 次計画策定の参考として)

調査対象 小学校 3 年生 (各学校 1 クラス)

調査期間 6 月 25 日 (火) から 7 月 10 日 (水)

クロームブックに掲載した L O G O フォームでの回答

エ 理系専門分野講座

「もっと知ってよ！温暖化のこと～自分たちが出している CO2 量を計算してみよう～」

日時 7月28日（日）午後2時から

講師：滋賀県地球温暖化防止活動推進員の皆さま

参加

人数 22人



オ 「おはなしボランティアのつどい」

2か月に1回開催 絵本について考察、意見交換、おはなし会の情報交換等

参加人数 延べ52人（6回）

＊毎週火・木・土・日曜日の午後2時から午後4時まで、図書館サポート隊、おはなしボランティア、市内おはなしボランティア団体の皆様に、おはなしのいえでおはなし会を開催していただけるようになりました。（事前申込制）

開催団体 1団体 開催回数 4回

カ ビブリオトーク

発表テーマ「この本にひとめぼれ」

日時 8月4日（日）午後2時から

発表者7人 参加人数 34人（発表者・職員含む）



キ 児童図書研究講座

「ほんとうにあったできごとが児童書になるまで ～ノンフィクションはどうやって取材するの？ 思いがけない出会いやできごと～」

日時 8月10日（土）午後2時から

講師：沢田 俊子さん（児童文学作家）

参加人数 46人（うち子ども5人）

ク 第一回文学・歴史講座

「石山寺の歴史と寺宝～源氏絵と石山寺について～」

日時 9月15日（日）午後2時から

講師：田中水萌さん（石山寺 学芸員）

参加人数 38人

ケ おはなしボランティア養成講座全4回

日時 10月23日（水）30日（水）11月8日（金）14日（木）

第1・2回講師：前崎 成子さん

参加人数 延べ26名

コ 第二回文学・歴史講座

「和歌で旅する近江国」

日時 2月1日（日）午後2時から 北部図書館（速野会館）多目的室

講師：井ノ口 史さん（滋賀大学教育学部教授）

参加人数 24人

サ その他主な定例行事等

(ア) おはなし会（図書館司書とおはなしボランティアが協働で開催）

毎週水・金曜日 午後3時からおはなしのいえにて開催

参加人数 延べ 1411人（85回）

(イ) おたのしみおはなし&映画会

毎月第2日曜日 午前11時から 多目的室

参加人数 延べ 356 人 (12 回)

(ウ) 大人のための映画会

名画上映 隔月第 2 水曜日 10 時から 多目的室

参加人数 延べ 468 人 (6 回)

(2) 北部図書館

ア 主な開催行事等

(ア) 定例おはなし会 (図書館司書とおはなしボランティアが協働で開催)

毎週火曜日 午後 2 時 30 分から 読み聞かせキッズコーナーにて開催

参加人数 延べ 213 人 (51 回)

(イ) あおぞらおはなし会

日時 5 月 5 日 (日) 午前 10 時から 入り口前庭芝生にて

参加人数 7 人

(ウ) 夏のおはなし会&ワークショップ

七夕のおはなしを聞いて天の川の飾りや短冊をつくる。図書館かざり隊! (図書館サポート隊) との協働で行う。

日時 7 月 7 日 (日) 午前 10 時 30 分から

参加人数 23 人

(エ) 北部図書館映画会

日時 6 月 10 日 (月) 午前 10 時 30 分から

「人生、いろどり」

参加人数 29 人

(オ) こわーいおはなし会

日時 8 月 23 日 (金) 午後 6 時から

参加人数 30 人

(カ) 1 周年記念しおりづくり

(キ) 北部図書館映画会「おくりびと」

日時 11 月 25 日 (月) 午前 10 時から

参加人数 19 人

(ク) 1 周年アニバーサリーおはなし会

日時 11 月 30 日 (土) 午前 11 時から

参加人数 18 人

(ケ) クリスマスおはなし会&こうさく

日時 12 月 22 日 (日) 午前 11 時から

参加人数 51 人



(コ) みんなでかるた大会

日時 1月11日(土) 午前11時から

参加人数 28人

図書館サポート隊6名の方に行事の運営などお手伝いいただきました。

(サ) みんなでえいが会「実写版 忍たま乱太郎」

日時 3月26日(水) 午前10時30分から

参加人数 51人

イ 近隣校園との連携

(ア) 速野幼稚園

毎月(不定期)4・5歳児が来館、貸出とおはなし会の開催

(イ) 速野カナリヤこども園

出張おはなし会や来館でのおはなし会を開催

(ウ) 速野小学校

図書館見学は全学年、他図書の貸出や調べ学習で利用

12月9日(月)、10日(火)

6年生が国語の授業で利用、本の紹介パンフレットの作成

*パンフレットは北部図書館内に掲示しました。

(エ) 守山北中学校 職場体験受入 4名

(オ) 守山北高校 北部図書館“本の湖”ミーティング

第1回 7月2日(火) 生徒6名、先生2名参加 場所：守山北高校

第2回 7月16日(火) 生徒4名、先生2名参加 場所：北部図書館

12月16日(月) 次年度に向けての打合せ



ウ 公民館事業との連携

4月23日(火) としょかんたんけんちびっこツアー&おはなし会

5月15日（水） 速野公民館地域学級ひまわり「本のある生活」

おはなし会と図書館見学

5月17日（金） 中洲公民館地域教育学級ふれあい学級「おとなのおはなし会」

8月27日（火） なつやすみとしょかんたんけんツアー&おはなし会

10月20日（日） 速野学区民の集い おはなし会&しおりづくりワークショップ

12月3日（火） ほっとステーションおはなし会

3 図書館サポート隊の活動等

(1) サポーター数 個人112名、団体38団体（令和7年3月末日時点）

(2) 図書館サポート隊の活動

ア 演奏会、展示会、写真展、紙芝居、読書会、おはなし会、古典の会、講演会など。
延べ 114回 （うち北部図書館2回）

イ 本おなとし隊（本の修理） 月1回開催 6月に本おなとし講座、12月に糸綴じ講座実施

ウ 対面朗読（視覚障害など自力で本を読むことが困難な方に希望される本を朗読）
毎月1回実施

エ 図書館主催行事等の補助 図書館主催行事の事前準備や当日受付

オ おはなしボランティア おはなし会の開催、幼稚園、保育園等へ出前おはなし会
カ としょかんかざり隊！

「青空の下で楽しもう！」	4月21日（日）	参加人数	82人
「自然を楽しもう！」	7月21日（日）	参加人数	91人
「お家の中で楽しもう！」	10月27日（日）	参加人数	77人
「新しいことにチャレンジ！」	2月23日（日）	参加人数	83人

キ 中高生サポーター

本のPOP作成やテーマ展示（ティーンズコーナーにて）

クイズラリー主催 11月2日（土）・3日（日） 参加人数 191人（延べ）

「本の闇鍋（福袋）」 7月7日（日） 出品点数 9セット

12月8日（日） 出品点数 10セット

3月9日（日） 出品点数 8セット

POPコンテスト 応募期間2月1日（土）～2月28日（金）

投票期間3月1日（土）～3月30日（日）

展示期間4月1日（火）～4月30日（水）（予定）

出品点数 39点



4 学校園、地域、団体への利用啓発と連携

- (1) 出前おはなし会、ブックトーク等 合計 317 回
保育園・こども園（208 回）、小学校（31 回）、中学校（15 回）、高校（25 回）、地域子ども文庫（17 回）、親子はっとステーション（5 回）、わくわく子育て応援プログラム（5 回）その他（11 回）
- (2) 地域子ども文庫（14 文庫）等団体への貸出し
- (3) 中洲小学校での図書の貸出し（月 1 回）
- (4) 市内園、家庭的保育室への絵本巡回
「としょかんわくわくボックス」（21 園）
「ミニとしょかんわくわくボックス」（17 園）
- (5) 職場体験および図書館実習等受入れ
市内中学校（6 校 21 名）、京都橘大学（3 名）
- (6) 「夏休みおすすめBOOKS」の作成
小学校 1～3 年生向け、小学校 4～6 年生向け、中学生・高校生向けの 3 種類
市内小中学校（市立）全児童・生徒へ配布する他、Chromebook、図書館ホームページにデータ掲載。

5 学校図書館支援事業

- (1) 学校司書の勤務体制 各校、週 2 回程度巡回・1 日 4 時間勤務
 - ・小学校—9 校を 5 名の学校司書がそれぞれ 3 校ずつ担当。
 - ・中学校—4 校を 2 名の学校司書が担当。
 - (2) 学校司書活動内容
 - ・本の貸出、返却、書架整理、書架の見出しや案内の作成、図書移動
 - ・本の修理、本の受入れ（データ入力・装備）、図書の除籍（廃棄）
 - ・授業で使う本の用意（図書室の本や、市立図書館から団体貸出）
 - ・絵本の読み聞かせ
 - (3) 研修、報告等の実施
 - ・月 1 回市立図書館に於いて研修（図書の修理、選書、子ども読書活動推進計画、著作権、全国の学校図書館取組事例報告等）、業務報告の実施。
令和 5 年度から学校教育課の指導主事も参加し、学校司書の活動状況を共有し助言をいただくほか、図書館だけでは得られなかった学校関係の有益な情報を提供していただいています。
- ア 「学校における読書バリアフリーの理解と促進」 9 月 27 日（金）
- イ 「D X 時代の学校図書館支援と Y A サービスについて」 11 月 29 日（金）
- ウ 学校図書館見学

- 日時 7月26日（金）（守山小学校）・3月28日（金）（守山中学校）
- エ 学校図書館連携推進事業 第1回連絡協議会 令和6年5月9日（木）
説明「学校図書館の現状と課題の改善に向けて」
講義「子どもの読書活動を支える学校図書館の役割」
グループ別協議「各校の学校図書館の活用状況や取組について」
- オ 学校図書館連携推進事業 第2回連絡協議会 令和7年2月6日（木）
事例発表「学校図書館の活用と読書活動の推進について」
講義「学校図書館の学習センターとしての機能の活性化について」
グループ別協議「学校図書館の活性化に向けた今年度の取組における成果と課題について」

6 障害者支援事業

- (1) 音声ブック（デイジー）の郵送貸出 389冊
- (2) 墨字図書の郵送貸出 97冊＋録音図書 37点
- (3) 郵送貸出の実利用者 7人
- (4) 公開朗読会（12回170人）・対面朗読（12回27件）の実施
- (5) 「世界アルツハイマーデーおよび月間」に関する認知症啓発（長寿政策課との共催）
ア パネル展示（敬老の日と共同展示）@木もれび広場 ギャラリー
9月10日（火）から23日（月）
イ 関連図書・グッズ展示@本の森2階 健康・医療情報コーナー／北部図書館1階
9月4日（水）から30日（月）
ウ オレンジライトアップ～In 守山市立図書館
9月3日（火）から30日（月）
エ 認知症についてのおはなし会
9月22日（日）
参加人数 18人
- (6) 滋賀県手をつなぐ育成会第16回本人の会交流会（共催事業）
3月19日（日）
読書バリアフリーワークショップ LLブックの紹介、図書館探検など

7 医療機関との連携

- (1) がん相談支援センター出張相談
毎月第2・4金曜日午後1時から3時まで
滋賀県立総合病院内のがん相談支援センターの専門スタッフによる個別無料相談
相談回数 1回1件
- (2) がん教室「まなびや」の開催

「がん治療とお金の話」

9月18日（水）講師 岡村 理さん（滋賀県立総合病院がん相談支援センターがん相談専門員社会福祉士）

参加人数 3人

「自分にあった治療選択～がん相談支援センターが寄り添います～」

1月15日（水）講師 山内 智香子さん（滋賀県立総合病院がん相談支援センター長放射線治療科科長）

参加人数 9人

(3) そのほか共催事業

「滋賀県がんと向き合う週間」展示@木もれび広場 ギャラリー

滋賀県がん患者団体連絡協議会との共催

8 広報活動

(1) インスタグラム 投稿数 414件 フォロワー数 1,391人

(2) 広報もりやま 連載『みんなの読書活動』

7月15日号「北部図書館“本の湖”」

11月15日号「おはなしボランティアさんが活躍中」

1月15日号「子どもと本との出会い ブックトーク」

9 施設整備

(1) 室外機基礎ブロック取替修繕

工期 4月24日より6月14日まで

(2) 公用車78号車タイヤ取替修繕

工期 6月20日より7月31日まで

(3) 停電事故対応等修繕

工期 7月25日より7月25日まで

(4) 落雷に係る防犯カメラ修繕

工期 11月12日から12月31日まで

(5) 落雷に係る音響設備（防災アンプ）修繕

工期 11月12日から12月31日まで

(6) 図書館カウンター等LEDダウンライト交換修繕（6か所）

工期 11月22日から2月10日まで

(7) 図書館カウンター前通路LEDダウンライト交換修繕（3か所）

工期 3月22日から3月31日まで

10 視察、見学等

(1) 視察・見学等

ア	久留米大学教員	4月12日(金)
イ	大阪府泉南郡田尻町議会	4月19日(金)
ウ	韓国コンジュ市使節団	5月19日(日)
エ	(京都建築大学校)	7月6日(土)
オ	(徳島県建築士)	7月6日(土)
カ	福井県教育庁生涯学習・文化財課、福井県立図書館子ども読書推進室	7月19日(金)
キ	広島市廿日市市図書館、関係課	7月31日(水)
ク	(石川県工業高等学校建築学科)	10月3日(木)
ケ	アメリカハワイ州カウアイ市教育長、学校長	10月9日(水)
コ	守山市の有名建築を巡るスタンプラリー ボランティアガイド他(北部)	10月11日(金)
サ	彦根の図書館を考える会(北部)	10月18日(金)
シ	彦根市立図書館、関係課(本館・北部)	10月30日(水)
	幸津川町自治会(北部)	11月12日(火)
ス	岐阜県木材協同組合連合会(北部)	1月25日(土)
セ	舞鶴市立図書館	1月29日(水)
ソ	三重県鈴鹿市自由民主党鈴鹿市議団	2月5日(水)
タ	静岡県長泉町議会 新風、無所属	2月6日(木)
チ	京都府京田辺市市民	2月14日(金)
ツ	高島市の図書館を考える会	3月15日(土)

(2) 見学・インタビュー等

ア	速野小学校2年生(北部)	112人	4月30日(火)
イ	速野小学校6年生(北部)	140人	6月11・12日(火・水)
ウ	吉身小学校3年生図書館見学	32人	6月27日(木)
エ	速野小学校3年生(北部)	111人	7月8日(月)
オ	速野小学校5年生(北部)	120人	7月12・16・17日(金・火・水)
カ	速野小学校1年生(北部)	118人	7月16日(火)
キ	速野小学校2年生まちたんけん・インタビュー	114人	10月30日(水)

守山市子ども読書活動推進計画第3次計画 指標と現状値

資料2

指 標 名		第3次策定時 (令和2年3月策定)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目 標 (令和6年度)
市立図書館・ボランティアと連携を図り、出前おはなし会やブックトークなどを実施している学校・園の数	保育園・認定こども園・幼稚園	14 園／20 園	6 園／21 園	13 園／21 園	13 園／22 園	14 園／22 園	19 園／22 園	21 園／21 園
	小学校	9 校／9 校	6 校／9 校	7 校／9 校	8 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校
	中学校	1 校／4 校	3 校／4 校	2 校／4 校	2 校／4 校	3 校／4 校	2 校／4 校	4 校／4 校
学校司書が関わる学校の数	小学校	0 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校	9 校／9 校
	中学校	4 校／4 校	4 校／4 校	4 校／4 校	4 校／4 校	4 校／4 校	4 校／4 校	4 校／4 校
児童生徒が1 か月に読んだ書籍の平均冊数	小学校4～6年	8.5 冊	9.9 冊	11.5 冊	9.4 冊	10.5	10.0 冊	10.0 冊
	中学校1～3年	3.9 冊	3.6 冊	4.6 冊	4.3 冊	3.2 冊	4.0 冊	5.0 冊
学校の授業以外で平日（月曜日～金曜日）に1 日当たり 10 分以上読書している児童生徒の割合 ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小学校（6年生）	63.6%	63.2%	65.4%	58.7%	59.5%		70.0%
	中学校（3年生）	49.5%	44.5%	59.4%	47.9%	51%		55.0%
市立図書館における	0歳～12歳の市民1人あたりの児童図書の間貸出冊数	34.9 冊	28.8 冊	37.7 冊	36.3 冊	37.0 冊	41.6 冊	35.0 冊
	13歳～18歳の市民1人あたりの図書の年間貸出冊数*	6.3 冊	6.1 冊	6.6 冊	6.8 冊	6.3 冊	4.2 冊	6.5 冊

指標からみる成果と課題

資料 3

指標		R6 年度 実施値	R6 年度 目標値	成果・課題
市立図書館・ボランティアと連携を図り、出前おはなし会やブックトークなどを実施している学校・園の数	保育園・認定こども園・幼稚園	19 園 ／22 園	21 園 ／21 園	【成果】図書館の出前おはなし会以外に、教職員、保育士による読み聞かせも行われている。 【課題】図書館からのさらなる園への働きかけの他、新たなボランティアの養成が必要である。
	小学校	9 校 ／9 校	9 校 ／9 校	【成果】実施している小学校では保護者を中心とした読み聞かせボランティアによるおはなし会が月 1 回から週 1 回程度開催されている。 【課題】授業時間での実施となるため、学校とのより具体的な日程調整や、ブックトークのテーマの案内等を行う必要がある。併せて新たなおはなしボランティアの養成も必要である。
	中学校	2 校 ／4 校	4 校 ／4 校	【成果】実施している 2 校においては読書の楽しさを知ってもらい、様々な本に出合うきっかけをつくる場となっている。 【課題】ブックトークへの理解を深め、授業に取り入れてもらえるよう働きかける必要がある。
学校司書が関わる学校の数	小学校	9 校 ／9 校	9 校 ／9 校	【成果】第 3 次計画策定時は中学校のみ配置されていたが、現在では小・中学校すべてに配置され、各校週 2 回巡回している。読み聞かせ・読書案内や特集展示等を行い魅力ある学校図書館づくりを進めている。 【課題】学校図書館や市立図書館の本を授業で利用する機会の増加に努めるとともに、児童生徒が楽しんで読書に親しむことが出来るよう取り組みをすすめる。
	中学校	4 校 ／4 校	4 校 ／4 校	

児童生徒が1か月に 読んだ書籍の平均冊数	小学校4～6年	10.0冊	10.0冊	【成果】第3次計画策定時に比べると読書量は増加している。 【課題】中学校1～3年生について、本や読書の楽しさを伝える取組や身近に本を手にとれる環境づくりが必要である。
	中学校1～3年	4.0冊	5.0冊	
学校の授業以外で平日（月曜日～金曜日）に1日当たり10分以上読書している児童生徒の割合 ※1 文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小学校（6年生）		70.0%	【成果】朝読書の取組は定着しており中学校では全ての校が実施している。 【課題】学校司書と連携し、魅力的な学校図書館をつくることで、より身近な場所で読書に親しむ環境整備を今後も推し進めていく。
	中学校（3年生）		55.0%	
市立図書館における	0歳～12歳の市民1人あたりの児童図書の年間貸出冊数	41.6冊	35.0冊	【成果】0歳～12歳の市民の目標数値は達成し、増加している。 【課題】中高生の利用の増加にむけ、ティーンズコーナーの充実や中高生サポーターとの連携など、さらに多くの子どもたちに図書館に来てもらえるよう工夫やPRを行う必要がある。学校図書館の放課後の開放や守山に関わる外部講師による講演などの取組みを進めることで、本に興味を持ってもらえる工夫を行っていく。
	13歳～18歳の市民1人あたりの図書の年間貸出冊数	4.2冊	6.5冊	

※網掛けの指標が目標値に達している項目です。

※文部科学省「全国学力・学習状況調査」の調査から数値を確認。令和6年度の調査項目には含まれていないため、この項目の数値のみ令和5年度の数値です。

指標の設定（第3次計画から第4次計画へ）

資料4

第3次守山市子ども読書活動推進計画 指標

第4次守山市子ども読書活動推進計画 指標

指 標 名		令和6年度	目標（令和6年度）
市立図書館・ボランティアと連携を図り、出前おはなし会やブックトークなどを実施している学校・園の数	保育園・認定こども園・幼稚園	19園/22園	21園/21園
	小学校	9校/9校	9校/9校
	中学校	2校/4校	4校/4校
学校司書が関わる学校の数	小学校	9校/9校	9校/9校
	中学校	4校/4校	4校/4校
児童・生徒が1か月に読んだ書籍の平均冊数	小学校4～6年生	10.0冊	10.0冊
	中学校1～3年生	4.0冊	5.0冊
学校の授業以外で平日（月曜日～金曜日）に1日あたり10分以上読書している児童生徒の割合 * 文部科学省「全国学力・学習状況調査」令和6年度該当調査なし	小学校（6年生）		70.0%
	中学校（3年生）		55.0%
市立図書館における	0歳～12歳の市民1人あたりの児童図書の間貸出冊数	41.6冊	35.0冊
	13歳～18歳の市民1人あたりの図書の年間貸出冊数	4.2冊	6.5冊

指 標 名	指標番号
読書が好きな児童・生徒の割合	1
学校図書館の貸出冊数*児童・生徒1人あたり（年間貸出冊数）	2
月曜日から金曜日（毎日）の長休み、昼休みに学校図書館を開館した学校の数	6
	7
放課後に週2回以上学校図書館を開館した学校の数	8
不読率（0%を目指す）	3
市立図書館における0歳～2歳の市民1人当たりの赤ちゃん絵本年間貸出冊数	10
市立図書館における3歳～12歳の市民1人当たりの児童図書年間貸出冊数	4
市立図書館における13歳～18歳の市民3人当たりの図書年間貸出冊数	5
0歳から18歳の市民の実利用者数	9
団体貸出利用の数	11、12

第4次守山市子ども読書活動推進計画 指標

資料5

	指標名	単位	現状 (令和5年度)	目標値 (R11年度)	指標設定の考え方
基本方針① 子どものための読書環境づくり（本が好きな子どもの育成）					
1	読書が好きな児童・生徒の割合 『読書は好きですか』 ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小学校（6年生）	67.10%	73%	令和4年度の国の数値（最高値）を目指す。
		中学校（3年生）	61.20%	68%	
2	学校図書館の貸出冊数 ※児童・生徒1人あたり（年間貸出冊数）	小学校	20.87 冊	36 冊	小学校：1人あたり1か月に3冊の貸出を目指す 中学校：1人あたり1か月に1冊の貸出を目指す
		中学校	3.48 冊	12 冊	
3	不読率 ※滋賀県教育委員会「子どもの読書活動に関する調査」時、1か月の数値	小学校（4年生－6年生）	0.9%	0%	0%を目指す。
		中学校（1年生－3年生）	7.1%	0%	
4	市立図書館における 3歳～12歳の市民1人あたりの児童図書年間貸出冊数		40.1 冊	48 冊	令和5年度の2割増の数値を目指す。
5	市立図書館における 13歳～18歳の市民1人あたりの図書年間貸出冊数		6.3 冊	7.5 冊	
基本方針② 本に親しみやすい場づくり（場所・蔵書・イベントの充実）					
6	月曜日から金曜日（毎日）の 長休み、昼休みに学校図書館を開館した学校の数	小学校	4校／9校	9校／9校	全校の開館を目指す。
7	月曜日から金曜日（毎日）の 昼休みに学校図書館を開館した学校の数	中学校	2校／4校	4校／4校	
8	放課後に週2回以上学校図書館を開館した学校の数	中学校	0校／4校	4校／4校	
9	0歳から18歳の市民の実利用者数		4,830 人	5,800 人	令和5年度の2割増の数値を目指す。
基本方針③ 子どもと本をつなぐ人づくり（啓発・研修・養成の促進）					
10	市立図書館における 0歳～2歳の市民1人あたりの赤ちゃん絵本年間貸出冊数		33.3 冊	40.0 冊	令和5年度の2割増の数値を目指す。
11	団体貸出利用の数	学校・園に関する団体 市内園・小中学校（としょかんわくわくボックス含む）	32 団体	36 団体／36 団体	全校・園の利用を目指す。
12		その他の子どもに関する団体（ミニとしょかんわくわくボックス含む）	37 団体	41 団体	令和5年度利用団体と地域型保育事業施設の合計の数値を目指す。

第4次守山市子ども読書活動推進計画 指標

資料5

	指標名	単位	現状 (令和5年度)	目標値 (R11年度)	指標設定の考え方
基本方針① 子どものための読書環境づくり（本が好きな子どもの育成）					
1	読書が好きな児童・生徒の割合 『読書は好きですか』 ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小学校（6年生）	67.10%	73%	令和4年度の国の数値（最高値）を目指す。
		中学校（3年生）	61.20%	68%	
2	学校図書館の貸出冊数 ※児童・生徒1人あたり（年間貸出冊数）	小学校	20.87 冊	36 冊	小学校：1人あたり1か月に3冊の貸出を目指す 中学校：1人あたり1か月に1冊の貸出を目指す
		中学校	3.48 冊	12 冊	
3	不読率 ※滋賀県教育委員会「子どもの読書活動に関する調査」時、1か月の数値	小学校（4年生－6年生）	0.9%	0%	0%を目指す。
		中学校（1年生－3年生）	7.1%	0%	
4	市立図書館における 3歳～12歳の市民1人あたりの児童図書年間貸出冊数		40.1 冊	48 冊	令和5年度の2割増の数値を目指す。
5	市立図書館における 13歳～18歳の市民1人あたりの図書年間貸出冊数		6.3 冊	7.5 冊	
基本方針② 本に親しみやすい場づくり（場所・蔵書・イベントの充実）					
6	月曜日から金曜日（毎日）の 長休み、昼休みに学校図書館を開館した学校の数	小学校	4校／9校	9校／9校	全校の開館を目指す。
7	月曜日から金曜日（毎日）の 昼休みに学校図書館を開館した学校の数	中学校	2校／4校	4校／4校	
8	放課後に週2回以上学校図書館を開館した学校の数	中学校	0校／4校	4校／4校	
9	0歳から18歳の市民の実利用者数		4,830 人	5,800 人	令和5年度の2割増の数値を目指す。
基本方針③ 子どもと本をつなぐ人づくり（啓発・研修・養成の促進）					
10	市立図書館における 0歳～2歳の市民1人あたりの赤ちゃん絵本年間貸出冊数		33.3 冊	40.0 冊	令和5年度の2割増の数値を目指す。
11	団体貸出利用の数	学校・園に関する団体 市内園・小中学校 （としょかんわくわくボックス含む）	32 団体	36 団体／36 団体	全校・園の利用を目指す。
12		その他の子どもに関する団体（ミニとしょかんわくわくボックス含む）	37 団体	41 団体	令和5年度利用団体と地域型保育事業施設の合計の数値を目指す。

令和 7 年度 守山市立図書館運営方針および活動計画

1 図書館の役割

図書館は、市民の「知る権利」を保障し、生涯にわたり学びを支えることで人々が豊かに幸せに暮らせるようになることを目的として設置されています。少子高齢化・高度情報化・国際化が進展する社会情勢のなかで、情報センターとして多種多様な資料を提供することで、自ら考え判断し行動する市民を育てること、生涯学習施設として学び続けながら生きがいを持って自己実現ができることを促進することを使命としています。

これらの役割を果たし、将来に渡って市民に豊かな読書環境、文化環境を提供するために、平成 27 年 3 月に策定された『守山市立図書館整備基本計画書』を基本に図書館の運営方針を定めます。

2 運営方針

「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」をめざして運営をしていきます。

図書館は市民と本との出会いを生み出す場となり、本を通して人と人がつながる場となります。市民が求める情報を的確に提供し、また、来館した人が読みたいくなるような本に出会うことができるように、多種多様な資料を集め、知的好奇心を刺激するようなコーナーを作り、本を見せる工夫をしていきます。

また、同じ課題を持っている人達がつながり、発展していく機会を作るためにいろいろな働きかけを行います。そうして市民が集い、高めあい、つながる知の広場（図書館）をめざします。

図書館は、「本の森」をイメージして作られています。知の宝庫である本に囲まれた空間で、新しい発見に心をときめかせたり、古の文化を知ることによって現在の自分を再認識することができるような本との出会いがあり、子どもたちには学校、家庭以外にも安らぎを感じられる居場所として、本の森を冒険し心豊かに成長してもらえるようにしてまいります。

また、北部図書館“本の湖”^{うみ}においては、市民と本との出会いや読書のきっかけを作り、誰もが本を手に取りやすく、読書に親しんでいただける場として、また地域の絆や地域活動につながる活動拠点として愛着と親しみを持ってもらえる施設となるよう運営してまいります。

図書館（本館）と北部図書館が連携し、市全体の読書環境の充実を図り、本が好きと言える市民であふれ、より広く深く読書に関わることができる「読書日本一のまちづくり」に向けて取り組みを進めてまいります。

3 運営方針を実現するための3つの柱

(1) 本と出会い、心豊かに過ごせる図書館

子どもから高齢者までが自分の読みたい本と出会い、ゆったりと本が読めるように環境を整備していくとともに、司書がカウンターからフロアーに出て本の案内人となります。なお、求める本（資料）を必ず届けることができるように自館にない本（資料）は他の図書館および関係機関と連携し提供します。

(2) 多くの人が集い地域の活力となる図書館

市民の学習意欲を喚起し、講座、講演会、演奏会、展覧会、読書および研究会など、様々な文化芸術活動が市民によって盛んに展開されるように、図書館利用団体および図書館サポート隊などと連携し、多くの市民の方が利用される施設をめざします。

(3) 人と人がつながる図書館

職員が地域に出向き関係機関と連携することで課題を見つけ、その解決を促すような資料を提供し、サービスを展開させることで同じ課題を持っている人と人とのつながりができ、知の広場となるような働きかけをしていきます。

なお、児童サービスに力を入れ、子どもたちの言葉を育て、コミュニケーション能力を高め、想像力を養うために小さな頃から親子で絵本とふれあい、発達段階に応じた絵本を読み聞かせてもらえる環境を作り、また、生きる力を育てるために、小・中学生の頃から読書の習慣を身に着けてもらえるように学校と連携して事業を実施します。

4 令和7年度活動計画の重点事業～読書日本一に向けた取り組み～

(1) 図書館機能の充実

昨年度は、市民一人当たりの貸出冊数は13冊とその前の年より0.5冊増加し、市内在住者の実利用者も17,480人と266人増加となりました。しかし、図書館に興味のない市民が多いため、更なるサービスの周知や利用を促進し、開館2周年を迎える北部図書館も含め、利用を呼び掛けていきます。

- ・本との出会いと来館のきっかけづくりのため、講座、講演会・イベント等開催
利用の少ない世代にむけてのイベント等を開催

図書館サポート隊、中高生サポーターの主催するイベントを開催

【新】視覚障害者等へのサービスとして、音訳ボランティア養成講座を開催

図書館HP、インスタグラム等の内容充実、講座等の情報発信

おすすめ本のリスト作成

【新】学習コーナー2部制を導入、より多くの方に利用していただく

北部図書館を公民館事業の中でPRし、公民館と一体となった利用を促進

- ・司書のスキルアップ（館内研修の充実、館外研修の受講）

- ・図書館システムの更新およびおうみクラウド協議会との協議

(2) 「守山市子ども読書活動推進計画第4次計画」の推進

4月1日より施行しました計画を推進するため、様々な取り組みを行います。

ア 図書館本館

- ・おはなし会や読み聞かせ等による本の楽しさを紹介
- ・【新】子どもにとって安心な居場所づくりを行うため、貸館のない土日祝、学校の長期休みに集会室を開放

イ 北部図書館

- ・【新】図書館や本に興味をもってもらえるよう、子ども司書講座を開催

ウ 学校

- ・【新】守山市の歴史やゆかりの人物への興味喚起を行うため、中学校2校での守山にゆかりのある作家による講演会を開催。
- ・学校司書、学校との連携を強化し、学級文庫の充実を図るため、実態把握を実施

「第5次守山市総合計画基本計画」（平成23年度～令和7年度）における数値指標

○市民1人あたり貸出冊数（年間貸出冊数÷守山市人口）

令和7年度 16.0冊（R6年度 13.03冊 R5年度 12.5冊 R4年度 12.0冊）

○守山市の人口に占める図書館を利用した市民の比率

（年間実利用者数÷守山市人口）

R7年度 42,000人

（R6年度 17,538人 R5年度 17,214人 R4年度 16,499人）

守山市子ども読書活動推進計画 第3次計画の概要

I 計画策定の趣旨

読書活動は、子どもが自ら考え、自ら行動し、主体的に社会に参画するために必要な知識や教養を身につけられるとともに、多様な文化に触れることができ、視野を広げ物事を読み解く力を伸ばすことができる。特に、社会が急激に変化し、複雑化していくなかで、読書活動を通じて、生涯にわたって自ら学ぼうとする習慣を身につけていくことは大変重要である。子どもの読書の重要性を市民一人ひとりが理解し、日常生活の中で読書活動が推進されていくように、読書環境を整備することをめざす。

II 第2次計画（H27～R1）の取組の成果と課題

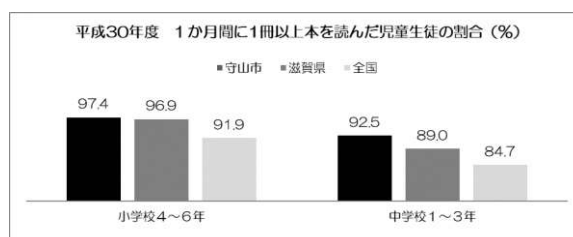
(1) 主な成果

① 学校・園における読書活動の仕組みや環境が改善された。

→朝の読書活動や読み聞かせの定着、本を手にとりやすくなる配架の工夫などを行った。

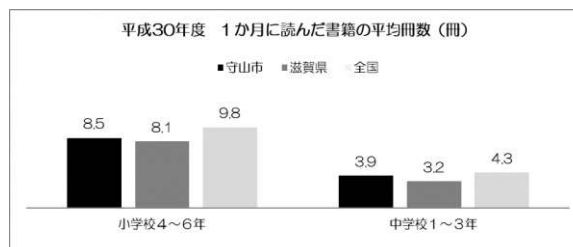
② 1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合が増加し、全国平均と県平均を上回る。

	第2次計画策定時 (平成25年度)	現 状 (平成30年度)
小学校4～6年	96.0%	97.4%
中学校1～3年	59.1%	92.5%



③ 児童生徒が1か月に読んだ書籍の平均冊数が増加し、県平均を上回る。

	第2次計画策定時 (平成25年度)	現 状 (平成30年度)
小学校4～6年	8.2冊	8.5冊
中学校1～3年	2.0冊	3.9冊



(2) 主な課題

① 読書冊数が全国平均と比べて低い数値であり、読書量増加のための方策を講じる必要がある。

② 全国的傾向と同様に、中高生期における読書活動が不十分であり、中高生が自主的に本を読むための働きかけが必要である。

III 第3次計画（R2～R6）の基本的な考え方

基本目標 「いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本」

- 基本方針**
- ① 本に親しみやすい場づくり
 - ② 子どもと本をつなぐ人づくり
 - ③ 支援の輪・ネットワークづくり
 - ④ 読書活動の啓発、広報の充実

第3次計画での
重点目標

- ・乳幼児期における積極的な本との出会いの場の創出
- ・児童生徒が本への興味関心を広げ、日頃から本に親しむ取組の推進
- ・中高生が主体的に本を選び、自主的に本を読むための支援

Ⅳ 読書活動推進に向けての具体的方策 ※ 下線は重点目標に関わる内容

保育園・認定こども園・幼稚園

- ◇お話会や読み聞かせを通した子どもと本の出会いづくり
- ◇絵本の充実と、園児がいつでも読書ができる環境づくり
- ◇家庭での読書タイムの設定や親子での図書館利用の推奨等、親子で楽しむ読書の推進
- ◇保育者の読み聞かせ等のスキルアップ
- ◇ボランティア活動の充実
- ◇市立図書館や読み聞かせボランティア等、読書団体との連携

小中学校

- ◇書架の設置や配架の工夫により、子どもが本を手にとりたくなる環境づくり
- ◇授業や委員会活動等、子どもが主体的に読書に関わる取組の推進
- ◇読書の楽しさや重要性を伝える広報の充実
- ◇本や新聞を活用した学習活動の推進と読み解く力の育成
- ◇学校司書の配置
- ◇教職員等の読書活動に関する研修会の実施
- ◇市立図書館や読書ボランティアとの連携
- ◇図書の実践
- ◇他校との情報交換

家庭・地域

- ◇親子参加型事業での読み聞かせの充実
- ◇保護者による読み聞かせや子ども読書の大切さの啓発
- ◇母子保健事業でのチラシ配付等による広報の充実
- ◇地域の読書団体と市立図書館の連携
- ◇本に親しむ環境づくり

市立図書館

- ◇児童図書の充実
- ◇おはなし会・ブックトークの充実
- ◇身近な所での本の受け渡し
- ◇中高生を対象としたサービスの充実
- ◇読書活動に関する啓発の充実
- ◇図書館ホームページの充実

- ◇新たなボランティアの募集・養成
- ◇司書の資質向上
- ◇指導者対象の研修の実施
- ◇学校・園・関係機関との連携の強化

社会教育課

- ◇広報もりやま、守山市ホームページ等での発信
- ◇学校・園との連携（優れた取組の紹介、調査結果のフィードバック等）

V 指標の設定

指 標 名		現状 (平成 30 年度)	目標 (令和 6 年度)
市立図書館・ボランティアと連携を図り、出前おはなし会やブックトークなどを実施している学校・園の数	保育園・認定こども園・幼稚園	14 園/20 園	20 園/20 園
	小学校	9 校/9 校	9 校/9 校
	中学校	1 校/4 校	4 校/4 校
学校司書が関わる学校の数	小学校	0 校/9 校	9 校/9 校
	中学校	4 校/4 校	4 校/4 校
児童・生徒が 1 か月に読んだ書籍の平均冊数	小学校 4～6 年	8.5 冊	10.0 冊
	中学校 1～3 年	3.9 冊	5.0 冊
学校の授業以外で平日（月曜日～金曜日）に 1 日当たり 10 分以上読書している児童生徒の割合 ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小学校（6 年生）	63.6%	70.0%
	中学校（3 年生）	49.5%	55.0%
市立図書館における	0 歳～12 歳の市民 1 人あたりの児童図書の年間貸出冊数	34.9 冊	35.0 冊
	13 歳～18 歳の市民 1 人あたりの図書の年間貸出冊数	6.3 冊	6.5 冊